

春

いろど
を彩る



山川永徳齋作 (昭和16年初節供)

ひな 雛 人形展

2012. 2.18(土) ▶ 3.31(土)

- 開館時間 / 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 / 月曜日、3月1日(木)
- 入館料 / 無料

大磯町郷土資料館

OISO MUNICIPAL MUSEUM

〒255-0005 神奈川県大磯町西小磯446-1 TEL 0463-61-4700
<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/shisetsu/shiryoukan/index.html>



春を彩る雛人形展

雛祭りは上巳の節供（節句）、あるいは桃の節供ともいい、女兒のすこやかな成長を願って雛人形が飾られます。雛祭りの起源はさまざまな説がありますが、すでに平安時代には「ひいな遊び」と称して人形を使ったままごとのような遊びをしていたことが知られています。これは、もともと中国で3月の巳の日に穢れを祓うために水辺で禊をおこなっていた儀礼が伝えられたといわれ、わが身の穢れを人形に託して川などに流したのが始まりのようです。やがて、貴族階級の女兒の「ひいな遊び」は徐々に庶民に浸透していきますが、桃の節供として一般に広く普及するのは江戸時代中期以降であるとされています。

また、雛人形も古くは質素な紙雛や土人形でしたが、次第に豪華な人形が作られるようになり、段飾りも登場します。本展示では、大磯町郷土資料館で所蔵している江戸時代末期から明治・大正・昭和時代まで、それぞれ時代の春を彩った雛人形たちの艶やかな競演をお楽しみください。



江戸

たび重なる大磯の大火や関東大震災からも生き延び、17代続く下町の旧家に残されていた人形。

明治



明治36年生まれ的女兒の初節供に飾られた人形。雛道具すべてに家紋が入れられた豪華な段飾り。



大正

手作りの着物に愛情が感じられる抱き人形。

昭和



昭和14年生まれの双子の女兒のために、内裏雛を二組あつらえた「吉徳」製の特注品。

大磯町郷土資料館

Oiso Municipal Museum

■住所 / 〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯446-1
TEL.0463(61)4700 FAX.0463(61)4660

■交通 / JR東海道線大磯駅下車
徒歩30分（約2km）
バス「二宮駅行」「国府津駅行」「湘南大磯住宅行」城山公園下車5分
小田原厚木道路大磯ICより5分、西湘バイパス大磯西ICより5分
●駐車場あり（県立大磯城山公園駐車場利用）

